



朝日子だより

社会人編 Vol.18

吉田高校の皆さんへ

部活動を通して将来音楽関係の仕事に就きたいと考え、大学進学後進路変更して専門学校に進学しました。今、学んだことを生かした仕事についています。変化の激しい社会の中で高校の3年間で将来の仕事を決めることは、だれにとっても大変なことです。少しでも皆さんが今後について考えるお役に立てれば幸いです。

関 彩乃 (平成27年度 普通科卒)

(株)FMふじやま 所属 (技術・制作担当)

尚美ミュージックカレッジ専門学校 音響映像学科 コンサートPA専攻 卒

仕事の内容

皆さんは、普段普段ラジオを耳にしますか?

FMふじやまは、富士河口湖町、鳴沢村を中心とする地域防災を目的としたコミュニティFMラジオ局です。災害などが起こったときに、その地域の避難情報やインフラなどの必要な情報を、電波を通じて発信します。しかし、これはあくまで有事の際の話です。大きな災害はめったに起こることではないので、普段は通常の音楽番組を放送しています。番組内では、天気予報、交通情報、ニュースはもちろんのこと、地域情報や懐かしのヒットソングを主に放送しています。

ラジオの仕事と言えば、話し手となるDJを思い浮かべる人が多いと思いますが、私が担当しているのは「技術・制作」分野です。具体的には、音響、音の編集、機材管理、番組ディレクターなど裏方の仕事をしています。ラジオは映像がないので、聞き手の耳のみに情報を伝えなければいけません。原稿を作るときは、どうすればうまく情報が伝わるのか、いかにいろんな人の想像力を掻き立てるか、興味を持ってもらえるかを考えるのが、難しいですがとても楽しいです。

音響の仕事に就こうと思った理由

高校時代、たまたま見たミュージカルからその世界にどっぷりはまり、漠然とステージの世界で仕事がしたいと思うようになったのが進路転換にきっかけです。それから紆余曲折を経て東京の専門学校に行きましたが、最初から就職は山梨ですと決めていたため、ステージ音響の道をあきらめ地元でできる音響の仕事を探しました。

まず、結婚式の音響さんに目を付けました。地元での音響の仕事が少ない中、結婚式場ならどこでもあるし、幸せのお手伝いができるなら最高だな、という緩い理由が入り口でした。運よく郡内地域の会社でアルバイト採用してもらうことができ、現在も本業の合間を縫って続けています。そして本業の仕事に出会ったのも、なんとこの結婚式が始まりでした。司会の方に仕事を探していると相談したところ、FMふじやまを紹介してくださったのです。専門学校時代から「ラジオ」なんて興味がなかったのですが、専門職ができるならと飛び込んでみたのが始まりです。

現在3年目ですが、音響以外の仕事も任せてもらえたり、世間の事や地元文化などいろいろな面において学ぶことが多かったり、毎日の仕事が刺激的でとても楽しいです。

学生時代から現在の仕事に至るまで

私は、現役で芸術学部のある大学に進学しましたが、思い切って進路変更をしました。

「尚美ミュージックカレッジ専門学校 音響映像学科」では、音響、映像制作、レコーディング、照明といった4つの分野を学習します。私は音響が第一専攻でしたが、第一専攻以外も学んだことで現在の仕事で自分のできる幅がとても広がっています。

また、学内の広報活動の一環で所属していた映像撮影チーム（SHOBI NET-TV）では、学内のイベントをはじめ、学外イベントでも公式カメラをやらせてもらいました。

専門学校の2年間では、音響の国家資格である「舞台機構調整技能士」の資格も取得できました。この国家試験受験は、カリキュラムに組まれているため、受験が必須になっています。専門学校に転学してよかったと思ったのはきちんとした資格が取れた事と専門知識の勉強がとことんできた事です。



専門学校卒業から1年半、フリーランスとして活動していました。現在の会社も含め、多い時で4つほど仕事を掛け持っていました。現在の仕事は私の技術や知識を認めてくださり、2018年10月から社員雇用にいただきました。職場も和気あいあいとしてとてもいい環境で仕事ができます。副業である結婚式の仕事も合わせ、毎回毎回音楽の大切さを実感しながら仕事をしています。

学生と社会人の違い

や

はり一番に思い浮かぶのが「責任」ではないかと思います。私の仕事は毎日生放送なので、何かミスをするとそのまま電波に乗ってリスナーさんの耳に届いてしまいます。そのためミスや放送事故が無いよう常に集中して音響席に座っています。

また、皆さんの身近にもあるかもしれないのが「フェイクニュース」です。私たちが電波に乗せる情報は、そのまま皆さんの耳に届いてしまうのでその情報は正確でなくてははいけません。安易にSNSから引用するのではなく、きちんとした情報機関を利用し、時には裏を取るなど徹底的にリサーチを行います。2018年に起こった北海道地震では、SNSで出た断水情報があつという間に広まってしまったのですが、これはネットから出たデマでした。北海道のコミュニティFM局では、この情報をいち早く電波で否定。この地震で改めてラジオの重要性が見えたと思う多くの人が感じたそうです。

特に有事の際、インフラが途絶えた時に頼りになる情報網はラジオしかありません。そのため誤報など、あってはなりません。有事の際だけではなく、普段から「メディア」として情報の取り扱いには細心の注意を払っています。



いま役に立っていると感じる
高校時代の経験



吹

奏楽部での経験が大きいと思います。小学校から高校までの9年間吹奏楽部に所属し、近くに音楽がある環境で生活してきたので、私の人生には音楽が欠かせない存在になりました。3年間、つらいことや苦しいこともありましたが、練習や大会などで得た達成感や一体感、感動などは今でも忘れられません。それがあったからこそ、音楽関係の仕事に就きたいと思うようになったのだと思います。そのほかに、高校に入ってから舞台鑑賞が好きになり、ますます芸術に触れる機会が増えました。学生生活以外でも、ちょっと視野を広げてみると趣味や些細な事から見えてくる将来も少しあるかもしれません。

吉高生へのメッセージ

「迷ったらGO」

この言葉は驚いたのですが、大学と専門学校の先生両方から頂いた言葉です。

今、何かしたいと思っていることがあるなら、できない理由を考える前に飛び込んでみる。できない理由は言い訳に過ぎない。**経験はした者勝ち**だと。

どれだけ多くの経験をするか、どれだけ視野を広げられるか、どんな人と出会うかで人生は変わってくると思います。私は高校を卒業してから、たくさんの人と出会い、たくさんの経験をさせてもらいました。そこで得たものは、学校の勉強だけでは学べなかったものばかりです。振り返ってみてもその一つ一つは、全て今につながっていると思います。知識・経験と年齢は比例しません。本当にやったもの勝ちです。

今、迷いや悩みが多い時期だと思いますが、勇気を出して一歩行動してみてください。高校の3年間で経験できることは、今後皆さんのプラスになることばかりです。勉強や進路ばかりにとらわれず、いろいろな経験をしてみてください。

